

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	大塚地区	回数	第4回
日時	2022年1月23日(日) 13:30-16:30		
参加者数	16名		

1. 評価表について

1) 評価方法全般

各案とも同じ評価の項目が多く、差が分かりにくい。

- ・ 各案とも同じ評価の項目が多く、それだと差が分かりにくい。「◎=現状より向上」という意味だが、どの程度向上する見込みがあるのか、マークだけではよく分からない。
- ・ 評価のメリハリがもっと付けばよいと思うが、評価が複雑で項目が多いため、具体的な改善策は思いつかない。
- ・ ほとんど◎か○でわかりにくい。
- ・ 各案の特徴が評価のなかで十分に反映されていないような気がする。

世代や地区によって、どの項目を重視するのかは異なる。

- ・ どの項目に重みがあるのか等は、子育てする世代や地区によって変わってくると思うので、一律に◎、○、△でははかりにくい。

2) 視点ごとの評価項目

① 多様な人々との交流

ア 多様な方との交流が行いやすい施設配置となっているか。

最も多くの施設が集まるA案は、特に世代間交流が期待できるため、他よりも評価してもよいだろう。

- ・ 一番多様な方と交流がもてるのはA案だと思う。あとの案は場所が分散しているため、最も世代間交流ができるという意味では、全て◎の中でもA案は他より交流が持てる評価をしてよいはずである。

全ての機能を集めるのは無理があるので、「交流のはかりやすさ」は施設がある程度分散していても◎で妥当だ。

- ・ 交流のしやすさという面から、全ての機能が一緒というのは無理がある気もするので、B~Dはある程度分散している形でも「交流のはかりやすさ」はAと同じく◎になることで妥当と考える。

施設が離れていても運用面で工夫すれば交流は可能であるので、施設の位置関係だけで評価するのは違うと思う。(項目サ、セも同様)

- ・ 施設が近くても離れていても運用面での工夫などで交流は出来る。施設の位置関係だけで評価するのは違うと思う。

ウ 地域行事で活用しやすい施設配置となっているか。

施設の配置にあたっては、地域行事での活用は重要な視点である。

- ・ 地域のお祭りは全世代が交流する大事なイベントであり、将来的な施設の集約と関連性がある。

ほとんどの案で△になっており、公民館または同様の施設を西大塚に配置するなどして状況を改善することはできないだろうか。

- ・ 「地域行事で活用しやすい施設配置となっているか？」はほとんどの案で△になっている。公民館（あるいはそれと同様の施設）を大塚西地区に設置するなどして状況を改善することはできないだろうか。

エ 若者・外国人などが利用しやすい施設が整備されているか。

評価基準が分かりにくく評価に差が出ていない。

- ・ エの評価基準が分かりにくく評価に差が出ていない。

<評価項目の追加>

施設の駐車場など、オープンスペースについても評価に加えてよいのではないか。

- ・ 例えば公民館の駐車場もイベントとして活用できるかもしれない。オープンスペースがどの程度確保できるかが評価につながるのではないか。
- ・ 建物施設の他での交流を考えても良いのではないか？コロナ禍のことも考えると（さがらの森のような）オープンスペースにおける交流も評価の一つに加えて良いのではないか。

② 子育てしやすい環境づくり

<全般>

車による送迎の利便性だけでなく、徒歩での送迎も楽しめるような環境があるとよい。移動のしやすだけが子育てしやすい環境とは限らない。

- ・ 車による送迎の利便性が重視されるが、徒歩での送迎も楽しむような環境づくりがまちの中にあるとよい。移動のしやすだけが子育てしやすい環境とは限らないと思う。

キ 自動車を利用しやすい保育園は整備されているか。

保育園の駐車場の確保は重要である。

- ・ 保育園の送迎を考えると、駐車場の確保についてのキの項目は重要。

ク 駅から利用しやすい保育園は整備されているか。

駅から働きに行く親にとっては、重要な項目である。

- ・ 駅から働きに行く子育て世帯にとっては重要な項目である。

コ 広々とした校庭・園庭は整備されているか。

<その他>

複合化した際に、校庭や園庭が窮屈にならないか心配だ。子ども達が不自由に感じないよう配慮や工夫が必要だろう。

- ・ 「コ 広々とした校庭・園庭は整備されているか？」は複合化したときに窮屈にならないか心配だ。トラックは確保されているという説明だが、子どもたちが不自由に感じないよう配慮や工夫（体育の時間の調整など）が必要だろう。

③ 子ども達の居場所づくり

<全般>

おおよそ妥当な評価だろう。

- ・ おおよそ妥当な評価だと思う。

サ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。

施設が離れていても運用面で工夫すれば交流は可能であるので、施設の位置関係だけで評価するのは違うと思う。（項目ア、セも同様）

シ 子ども達の遊び場は確保されているか。

放課後の子ども達の遊び場についてもっと重視すべきだ。児童館が他の施設とプログラム上も連携することが重要だろう。

- ・ 子ども達が放課後に遊ぶ場所がどこなのか、という視点があまり入っていないように思う。今の評価ではすべての案が◎になるが、児童館が人気の遊び場なので、児童館が敷地だけでなくプログラム上もどう他の施設と連携するかが重要ではないだろうか。

ス 子ども達の居場所に選択肢があるか。

子ども達の居場所づくりについては、すべての案で○となっているが、他に評価項目は考えられないだろうか。

- ・ 児童館がどこにあるかは子どもたちの居場所づくりで大事な視点だと思うが「選択肢」ではすべての案で○となる。他に評価項目は考えられないだろうか。

④ 生涯現役でいられる地域づくり

セ 高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。

公民館機能を他の機能と集合させ、交流が増えることが望ましい。特に、公民館と保育園の集合は、利用者の生活リズムなどの面から、高齢者が活躍できるのではないか。

- ・ 公民館機能が他のものと組み合わせると交流が増えるので望ましい。ここでは小中との関係の評価になっているが、保育園などは公民館を利用する世代と生活リズムが合って交流も生まれ、高齢者が活躍できるように思う。

公民館が児童クラブと連携し、高齢者が子どもに様々なことを教えてあげられると良い。

- ・ 公民館が児童クラブと連携できるとやれることが増えると思う。

施設が離れていても運用面で工夫すれば交流は可能であるので、施設の位置関係だけで評価するのは違うと思う。(項目ア、サも同様)

<評価項目の追加>

高齢者の利用が多い公民館は、地区の中心部にある駅に近いなど利便性が重要ではないだろうか。

- ・ 高齢者の利用が多い公民館は駅に近いなど利便性が重要ではないだろうか。

⑤ 安全・安心

<全般>

子ども達にとって安全で利用しやすいという視点を優先したい。

- ・ 地区の将来を担う子どもたちにとって、安全で利用しやすいという視点を優先したい。

タ 避難所機能は確保されているか。

避難所の確保については、再編対象施設以外の避難所も含めて評価をすべきではないか。

- ・ 避難所の確保の検討については、今回の再編対象施設以外で記載されていない避難所(例：蒲郡東高校)も含めて評価を考えるべきではないか。

ツ 交通安全に配慮された施設配置となっているか。

大塚金野線開通による影響を評価に盛り込むことはできないか。

- ・ 金野線が出来たら安全・安心にどのような影響が出るかという視点を盛り込むことはできないのだろうか

<その他>

旧道の安全性について対策を考えてほしい。

- ・ 小中学校の前を通る旧道は自動車交通も多い一方で、歩道もなく側溝もあって歩行者が安全に通れない。公民館など高齢者が利用する施設があっても安全に行くことができない。小学校前に歩道橋があるが高齢者は利用が大変。
- ・ 旧道は狭いのに国道 23 号からの通過交通が通って歩行者が危険。特に大型車や通学時と重なる通勤車両の通行が多い。安全な通学や施設利用のために、何か対策を考えてほしい。

<評価項目の追加>

B 案の「西大塚に施設が残る」という点を評価できないだろうか。

- ・ B 案は災害時の避難所として西保育園を活用しようという案。収容人数が少ないので、あまり安全・安心という評価に効いてこないが、西にあるという立地面での大事な点を評価できないだろうか。

子ども達のセキュリティは重要な視点である。

- ・ 多世代複合型の施設の場合、交流は大事だけど、子どもに対する危険を避けるためセキュリティをどう守っていくかが課題になりそう。

「保育園児が災害時に安全でいられる施設配置になっているか」という項目を追加するのはどうか。

- ・ 「保育園児が災害時に安全でいられる施設配置になっているか？」という項目を追加するかどうか？小学校なども安全と言われているが、乳幼児などは自力で避難することができず、保育士だけで全員を避難させる（移動させる）ことは困難だろう。避難せずとも安全である環境に保育園が設置されていることを評価しても良いのではないだろうか？小学校などと複合化すると他の児童や教員など支援者は増えるかもしれないが、自分の命を守ることが優先されるので、支援者にはなりえないだろう。災害は必ず来るので対策は絶対に必要であろう。その場合、B' の保育園が高台の大塚保育園にある案が◎となる。

周辺の交通量を指標に「保育園の周辺が安全な環境であるかどうか」という項目を追加するのはどうか。

- ・ 「保育園の周辺が安全な環境であるかどうか（交通量の多少）」という項目を追加するかどうか？公民館周辺は現状では交通量が多く、園児にとって危険かもしれない。その場合、公民館に保育園を設置する D、D' 案が△、他は○または◎か？

⑥ 利便性の確保

<評価項目の追加>

施設が東側に偏ることについて、評価に反映されているだろうか。

- ・ どうしても施設が東側に偏り、西側に住民が集まれる施設がなくなってしまう。偏りや不便さが評価のなかに十分に反映されているだろうか。

2. 再配置案について

<全般>

全ての案が魅力的でどれか一つを選ぶことができない。

- ・ どれも魅力的で選べない。

<複合について>

公民館と小学校の集合は、地域住民と子どもが日常的に交流できてよい。

- ・ 公民館が小学校と一緒にするのは地域住民と子どもが日常的に交流できてとてもよい。高齢者は自分たちが以前通った小学校に行くことに抵抗はないと思う。

時間の流れを共有できそうな公民館と保育園が一緒になるのがよい。

- ・ ゆっくり・ゆったりと過ごす時間的な流れを共有できそうなため、公民館と保育園が一緒になるのがいいと思う。

災害時を考えると、機能を1か所に集合させるのではなく、分散配置することも必要だ。

- ・ 施設の集約については、災害時にリスクを考えると1か所に全ての機能を集約するのではなく小中学校、保育園、公民館等分散させることも必要。

<再配置について>

子育て世代からは、保育園と児童クラブは近い方がよいと聞く。

- ・ 子育て世代の方々からは、保育園と児童クラブは近くにあった方がよいとの声をきく。

既存の敷地だけでなく、新たな候補地も含めて検討できるとよい。

- ・ 駅の北側にあるらしい空き地などを利用するなど、新しい候補地も検討していけないだろうか（市の説明では現状の中で検討という説明はあったが）。
- ・ 今の公共施設の立地場所のなかでの再配置なので、根本的な問題解決（＝東側に偏りがある）は出来ないだろう。新たな候補地を検討するなどしないと新しいアイデアは生まれてこないかもしれない。

<学校の教育環境>

環境になじめない子どもの逃げ場を作る考えも必要ではないか。

- ・ 小中学校を別々にすることは、環境になじめない子どもの逃げ場も作ることにもなるのでそういった考えも必要ではないか。
- ・ 大塚公民館内にある市の図書館分室なんかは(子ども達の)逃げ場になるかもしれない。そう考えると公民館と小中学校は敷地的に分かれていた方がよい。

子どもの生活環境や認知レベルが異なるため、保育園と小中学校は分けたほうがよい。

- ・ 保育園と小中学校は分けたほうがよいかもしれない。子どもの認知レベルなどが保育園児と小学生以上では大きく異なり、教員の対応も異なる。
- ・ 中学生のオープンハウスの結果を見て、保育園から聞こえる子どもの声が、テスト前に気になるという意見があった。当事者の意見として非常に参考になった。そうすると、保育園と小中学校は敷地を分けてもいいのかなと思う。

<跡地や敷地利用について>

廃止後の跡地を地域で集える場所や安全に運動できる場などにしていくとよいのではないだろうか。

- ・ 小学校や保育園など跡地をうまく活用するのが良いだろう。地域が集える場所や地域が利用できる機能を持たせる施設などにしていくとよいのではないだろうか。
- ・ 身体を使って安全に運動できる場所が蒲郡には少ない。健康遊具のある公園などがあると良い。今の子ども達は身体の使い方が下手に感じる。

大塚保育園の敷地について、隣接施設とともに福祉の一体的な拠点として再整備すると有効活用できるのではないだろうか。

- ・ 大塚保育園の跡地活用について、周辺の養護老人ホームや障がい者支援施設(民間施設)との連携を考えることで福祉の一体的な拠点づくりに寄与するのではないか。
- ・ 大塚保育園の隣接地には、老人ホームやくすの木福祉事業会など老朽化した福祉施設が集中している。公共施設再編でそれらも一緒に再整備すると、まとまった敷地を有効活用できる可能性がある。

大塚西保育園敷地について、既存の建物を活用し休憩所や災害時の避難所として活用してはどうか。

- ・ 大塚西保育園の跡地活用について、既存の建物の屋根だけを残すなどして屋根付きの休憩所や災害時に避難所などに活用してはどうか。

大塚西保育園敷地について、民営保育園における活用可能性も踏まえ検討した方がよい。

- ・ 大塚西保育園の跡地活用について、民営保育園の施設拡充の可能性もふまえて検討された方がよい。(例：みどり保育園)

大塚西保育園敷地について、西大塚の住民が交流できる施設を設けることで、東側への施設の偏りを改善できる。

- ・ 大塚西保育園の敷地が空くのであれば、そこに西大塚の住民が交流できる簡易な施設を新たに設けることで、東側への施設の偏りを改善できる。
- ・ 大塚西保育園の近くに西大塚地区の集会所がある。敷地が狭く、道路も狭くて使い勝手はよくない。大塚西保育園の敷地が空くならば、西大塚地区の集会所をそこに移転することで西側にも地区拠点を残すことができる。

公民館の敷地は、地区の中央にあって駅に近く立地がよいため、有効活用していきたい。

- ・ 公民館の敷地は、地区の中央にあって駅に近く立地がよい。なんらかで有効活用して将来に残していきたい。

<新しい施設の利用について>

新しい公民館には、市や地域の情報提供や地域交流に関する機能を充実してほしい。

- ・ 新たな公民館には1階ロビー空間を充実させて、市のお知らせや様々な地域情報を得られ、子どもの絵を飾るなど住民が交流できるサロンのような場にしてほしい。

<安全>

通学路でドライバーに対し注意喚起を続けることで、子ども達の安全・安心を保っていくことが必要だ。

- ・ 通学路でドライバーに対して注意喚起を続けることで子ども達の安全・安心を作っていくことが大事。

危険を排除するだけでなく、なぜ危険なのかを理解することで安全性の向上につながる。

- ・ 危険を排除するだけでなく、なぜ危険なのかを理解することで安全性の向上につながることもある。ただそれが今回の評価の視点にどのようなようにつながるのかは難しい。

施設に様々な人が集まり、あいさつを交わす関係となることは防犯上、効果的である。

- ・ 公民館でいろいろな人が集まる機会を作るのも防犯上、効果的ではないだろうか。
- ・ 「大人と子どもがあいさつを交わす施設」は防犯上大きな効果がある

<災害時の避難場所>

避難所については、地域の実情に即して考えるべきである。

- ・ 今までの大塚地区での地域防災訓練は、地区で最も西側にある十能地区から指定の避難地に行くまで相当の距離があり、実状に即していないと感じる。地域の実情に即した避難所のあり方と併せて評価すべき。

施設跡地を公園などにするとしても、災害時の避難所としては何等かの建物（施設）が必要ではないだろうか。

- ・ 施設跡地を公園などにするとしても、災害時の避難所としては何等かの建物（施設）が必要ではないだろうか。

大塚西保育園がなくなったら、付近の人は蒲郡東高校に避難することになるのだろうか。特に西大塚の住民には、避難場所の情報などをきちんと伝えていく必要があるだろう。

- ・ 大塚西地区は大塚西保育園がなくなったら、東高校などが避難所になるだろうか。特に大塚西の住民に対して、避難場所情報などをきちんと伝えていく必要があるだろう。（どこに避難すればよいかの混乱する心配がある）

<意見の反映の仕方について>

中学生向けのオープンハウスにおける意見は意義深い。将来の担い手である中学生の考えも、配置案の検討にしっかりと取り入れていくのが良いだろう。

- ・ 中学生のオープンハウスでの意見は意義深い。将来の担い手である中学生の考えも再配置案の検討にしっかりと取り入れていくのが良いだろう。

【A 案】

機能を1か所に集約しすぎており、空間的にも機能的にも無理があるのではないかと。

- ・ 1箇所に交流の機能を固めすぎるのは、空間的にも機能的にも無理があるのではないだろうか。

【B' 案】

乳幼児は自力で避難することができないため、保育園は避難行動をとらずとも安全な大塚保育園敷地にあるほうがよい。

- ・ 災害発生時、園児が避難することを考えると高台にある大塚保育園のほうが安全ではないだろうか。乳幼児などは自力で避難することができないので、「避難行動」をとらずとも安全な場所に保育園はあるほうがよい。
- ・ 小学校、中学校の敷地は高潮や津波にも安全と説明があったが、線路より南側はやはり心配がある。高台にある大塚保育園の敷地は唯一の高台にある公共施設なので、その敷地を活用するB'案などを評価したい。

大塚保育園の近くには地域で整備した「里山」があり、園児の遊び場として有効に活用できるだろう。

- ・ 大塚保育園の近くには地域で整備した「里山」があつて、B' 案のように保育園で活用すれば子どもの遊び場として有効活用することができる

公民館の敷地は地区の中心で駅に近く立地が良いので、公民館を小学校に移転せず、そのまま活用する案を提案したい。

- ・ B' 案が良いと思うが、公民館の敷地は地区の中心で駅に近く立地が良いので、公民館を小学校に移転せず、そのまま活用する案を提案したい。
- ・ B' 案が気になるが、公民館のみ現在の位置に残してはどうか。公民館は大塚の中心部かつ駅に近く利便性に優れた現在の位置がよい。

駐車場確保等の面から、小学校敷地に全ての機能を集約せず、小中学校の機能のみ中学校敷地に集約するのはどうか。

- ・ 小学校敷地に全ての機能を集約せず、小中一貫校は中学校敷地に集約してその他の機能は小学校敷地に集約する案はどうか。施設の集約に伴い、駐車場等の確保も含めると小学校敷地だけでは難しいと思われる。

【C案】

公民館は現在の位置がよい。駐車場の確保や生徒の安全面等を考慮して、中学校敷地に小中学校、小学校敷地に保育園、児童館、児童クラブを整備するのがよい。

- ・ 公民館は現位置がよい。現在の中学校の場所に小中一貫校、現在の小学校の場所に保育園（2園）、児童館、児童クラブを整備。敷地に余裕が出て駐車場問題や安全安心面で効果的である。

【D案】

産子山児童遊び場を駐車場として利用すると保育園と高低差が生じるため、子どもを連れての利用に負担を感じるだろう。

- ・ 公民館敷地を保育園敷地に活用して産子山児童遊び場を駐車場にする場合、園と駐車場にかなりの高低差ができて、小さな子供や赤ちゃんを連れての利用が厳しくなる。

公民館敷地での保育園の整備は、園庭と駐車場の確保が難しいのではないか。

- ・ 公民館敷地における保育園の整備は、園庭と駐車場の確保が難しいのではないか。

駐車場は平面での確保が難しいのであれば、立体駐車場として整備するなども考えられるのではないかと。

- ・ 駐車場の確保については、近くにある産子山（遊び場）に駐車場をもっていくことや、平面での確保が難しいならば立体駐車場として整備するなどの工夫が必要。

保育園の配置には、新幹線や鉄道、行き交う車両など周辺の騒音も配慮した方がよい。

- ・ 新幹線や鉄道、行き交う車両の音が園児のお昼寝などに影響しないだろうか。周辺の騒音も（園児への影響として）配慮したほうがよいのではないだろうか。

公民館周辺は交通量が多く、園児にとって危険ではないだろうか。

- ・ 公民館周辺は交通量が多く、園児にとって危険ではないだろうか。周辺環境の危険性を考えると公民館の場所に保育園が来ることによる不安がある。
- ・ 公民館周辺は交通量も多く、そういった場所に保育園を整備するのは安全面での懸念がある。

将来的な交通状況は予測がつかないため、現時点で交通量について不安視しなくても良いのではないだろうか。

- ・ バイパスが開通すると、公民館周辺の交通量が増えるのではないかと。再配置がされる（仮に）20年後に旧道がどう変化するかは予測がつかず、現状で交通量を不安視しなくても良いのではないだろうか。

公民館敷地に保育園等が集約された場合、駐車場へ出入りする車により渋滞が生じる懸念がある。

- ・ 評価の高いD案が気になるが、現公民館は信号の角にあるので保育園等が集約された場合、出入りに渋滞が生じるなどの懸念がある。

【D'案】

電車を利用する人には保育園が駅前にあると利便性が高まり評価できる。

- ・ 電車を利用する人にとっても保育園が駅前にあるのは利便性が高まり評価できる。

駐車場の確保が難しいのではないかと。

- ・ D'案は公民館と保育園が一緒になることで、駅にも近くなり保護者の送迎が楽になるのはいいが駐車場の確保が難しいのではないかと。

駐車場は建物の屋上部に確保できないかと。

- ・ 駐車場の確保が問題となっているが、建物の屋上部を駐車スペースにするなどして確保することはできないだろうか。

保育園との合築により、公民館が上層階（2階や3階）になるのは好ましくない。1階に公民館入口とロビーが設置され、地域情報や交流の場となるべき。

- ・ 保育園と合築し、公民館が上層階（2階や3階）になるのは良くない。公民館は1階入口ロビーがあって地域情報や交流の場となるべき。